



今年こそ「打倒、J!」

第82回天皇杯全日本サッカー選手権大会

12月1日、駒大サッカー部の最後の戦いである天皇杯が開幕する。前回大会では、3回戦でJ屈指の戦力を誇るジュビロ磐田相手に、延長戦まで持ち込む大健闘を見せた。今年も3回戦まで勝ち進めば、横浜Fマリノスとの対戦が待っている。「打倒、J!」。総理大臣杯優勝、関東大学1部リーグ優勝、インカレ3位と今年の大学サッカー界に疾風を巻き起こしたチームの最後の戦いが、いよいよ始まる。

<前回大会3回戦・ジュビロ磐田戦>Vゴールで破れはしたが、深井の2ゴールなどでJ王者を苦しめた(岩田陽一撮影)

第82回天皇杯、駒大の予定

<1回戦>12月1日(日)
 各務原高校(岐阜)、長良川球技メドウ

<2回戦>12月8日(日)
 韮崎アストロス(山梨)VS浜松大学(静岡)
 の勝者、西が丘サッカー場

<3回戦>12月15日(日)
 横浜Fマリノス、三ツ沢球技場
 ※キックオフはすべて13時

駒大史上最強2トップ

最後の戦いへ

FW深井正樹(4年)&FW巻誠一郎(4年)

バックオフを待つ深井(左)と巻(右)の光景が見られるのもあとわずか

一つの時代が、終わりを告げようとしている。深井正樹と巻誠一郎。23cmもの身長差があるこの2トップは、1年次からコンビを組み、駒大に数々の勝利をもたらしてきた。「深井がいるから自分がいる」(巻)。「巻がいるから自分がいる」(深井)というように二人はまさに相思相愛。先日の関東大学1部リーグ戦では、2人揃って得点王を獲得し、駒大史上初の優勝に大きく貢献した。

卒業後、J入団が内定している2人は、別々のチームへと進む。この2人なら、数年後に再び日本代表の2トップとして、その勇姿を見ることが出来るかもしれない。だが駒大の一員としてのプレーを見ることが出来るのはあとわずか。駒大史上最強2トップの最後のプレーを、しかとこの目に焼き付けたい。

試合結果速報など駒大スポーツの情報は
<http://111.teacup.com/komaspo/bbs>
 までアクセス!

今年こそ。その想いは募る。しかし、その他のチームもJチームとやるために死力を尽くしてくるはずである。同じブロックには、インカレで駒大の3冠を阻止した国土大をPK戦まで苦しめた浜松大(監督は元清水の長谷川健太氏)などがあり、決してその道程は楽なものではない。4年生にとっては最後の大会でもある。悔いの残らない戦いで、夢の実現に邁進しよう。

天皇杯は唯一、公式戦でアマチュアがプロに挑める大会。今年も、3回戦まで進めば横浜Fマリノスと対戦することになる。横浜には去年まで駒大に所属していた那須大亮(U-21日本代表、も在籍しており、対決が実現すれば興味深い一戦となるだろう。「今年こそ」。その想いは募る。

Fマリノスと対戦!

「プロを倒すチームを作りたい」。これは秋田監督が駒大の監督に就任してから抱き続けている夢である。去年の天皇杯3回戦・ジュビロ磐田戦で、その夢は実現しかけた。

奥、福西ら日本代表クラスの選手をズラリ揃える磐田相手に、駒大は一步もひかず試合を展開。2点を先制されたが、ロスタイムの劇的な同点ゴールを含む深井の2ゴールで追いつき、延長戦に持ち込んだ。結局PKを藤田俊哉に決められ破れはしたが、五角以上の戦いを見せた。

「今年は3回戦で横浜Fマリノスと対戦!」

前回大会ハイライト

<1回戦>3-1大原学園JaSRA
 【得点者】古川2、深井
 【メンバー】GK桜井繁(現モンテディオ山形)、DF木村誠(現川崎フロンターレ)、小林久晃(現ジェフ市原)、那須大亮(現横浜Fマリノス)、三上卓哉(現浦和レッズ)、MF津村典明(現佐川急便東京SC)、高橋健次、橋本早十(中後雅喜)、森田真実(金位漫(現ジェフ市原)、FW深井正樹、古川健一(金井一敏、SUB新沼泉、鈴木祐輔 ※巻は負傷欠場)

<2回戦>4-1国見高校
 【得点者】高橋、中田2、深井
 【メンバー】GK桜井繁、DF木村誠、小林久晃、鈴木祐輔、三上卓哉、MF津村典明、中田洋介、高橋健次(橋本早十、森田真実、FW深井正樹(金位漫、巻誠一郎、SUB新沼泉、小林亮、中後雅喜)

<3回戦>2-3Vジュビロ磐田
 【得点者】深井2
 【メンバー】GK桜井繁、DF木村誠、小林久晃、那須大亮、三上卓哉、MF津村典明、中田洋介(中後雅喜、高橋健次(橋本早十、森田真実(金位漫、FW深井正樹、巻誠一郎、SUB新沼泉、鈴木祐輔)

<2回戦・国見高校>大王者対高校王者の対決で注目を集めた一戦は、駒大が圧倒的差を見せつけた